



高岡駅前ウイングウイングでのコムコム広場 (2005/05/15)

■ご挨拶

★ハートフルニュースを刷新しました

SO富山準備委員会会長 山口昌広

一昨年春からスタートしたスペシャル・オリンピックスの富山での活動は、その年の9月、SO富山設立準備委員会を立ち上げたことにより本格化しました。準備委員会の立ち上げに関わっていただきましたボランティアやファミリーの方々には、その後も各種の活動に絶大なご協力を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。

さて、2005年スペシャル・オリンピックス長野冬季世界大会も終わり、私どもの活動は更なる第一歩を踏み出しました。富山では、今年から新たにアルペンスキーと陸上のプログラムを加え、フロアホッケー、水泳、ボウリングと合わせて5種目を運営しています。

一方、全国的なSO活動では、長野での世界大会はもとより、それを支援するために全国各地で実施された

「500万人トーチラン」等により、次第に市民への理解の輪が広がりつつあります。富山では今年9月に西日本ブロック競技会への参加、11月にはJR富山駅前での「SOデー」の開催などが予定され、精力的に活動していく計画でございます。

富山準備委員会は、本部に、支部昇格を申請いたしました。近い将来には、全国27の支部同様、より充実した活動環境が整うことと期待しています。また、今後はハートフルニュースなどの広報活動をより一層充実させ、一人でも多くの方々にSOを理解していただき、更に充実した活動につなげていきたいと、スタッフ全員が身を引き締めて取り組ましますので、皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

スポーツプログラム委員会

★「出会い」と、私にできる「ほんの少し」

14年前の9月、パラリンピック日本選手団82名が、情熱の国スペインに降り立ち、その中に私と、私が担任していたK君がいました。

たまたま担任になったK君は、中学校から大の体育嫌い。彼をどんなに誘っても、なかなか体育の授業に出ることはできなく、色々悩んだ末、最初は軽いジョギングからスタートしました。そのうちに彼は走りながら、少しずつ私に心を開くようになっていきました。各地の市民マラソンに参加する楽しみも増え、よく二人で出掛けました。

その後、彼がパラリンピック陸上日本代表に、私が陸上日本代表コーチとして選ばれるというプロセスを経て、私たちの活動は、参加80カ国の代表選手と共にバルセロナオリンピック後に行われたスペインパラリンピックへの参加につながっていったのです。最初は、彼にほんの少し自信を付けてほしいと考えて走り始めた

★私も練習しています

開始から2年目を迎えるボウリング・プログラムですが、昨年はコーチとして参加し楽しんでいました。しかし、今年はヘッドコーチを受けることとなり、いつも試行錯誤の連続です。アスリート個人に合わせた練習方法なども検討していき、より楽しめるように努力していきたいと思っています。

実は、ヘッドコーチを受けてから、年に何回かしか行ったことのないボウリングも、暇があれば練習に行くようになりました。ヘッドがあんまり下手だと申し訳なくて、何ゲームも投げ込んだりしています。それでも私自身、全然上達していないのは事実です。

ただ、練習に行っても自分のスコアはもとより、どうやって練習すればいいのかなんて考えながらやっています。ステップがうまくいかないアスリート、手首がかえってしまうアスリート、右や左へぶれてしまうアスリート。いまだ「これだっ」という解決方法は見いだせて

ファミリー委員会

★ファミリーの声を聞かせてください

熱く燃えた長野でのナショナル大会からもう1年余りが経ちました。この間、新しいアスリートやボランティアの参加があり、競技種目に水泳・ボウリング・陸上・アルペンスキーが加わり、「富山県支部」への昇格に向けて着実に歩んできました。このような会の活動拡大にともなう現状について、会員の皆様に以下の2点についてご協力いただきたいと思ひます。

一つは活動費の問題です。ご承知のように、SOでは

水泳ヘッドコーチ 島上 淳

はずのジョギングが、いつしかこんな大舞台に立つことになってしまったのです。

久しぶりに養護学校勤務となり、昨年たまたま担任となった沢田一将君。SO立ち上げのため、ひたむきに頑張っておられた沢田君のお父さんからの相談を受け、SOのボランティアの一員になりました。K君とは陸上競技で関わっていましたが、今回は水泳プログラムで、責任重大なヘッドコーチという大役を承りました。水泳というスポーツを通して、色々なことを子供達に伝えていけたらと思っています。

私たち水泳コーチ陣は、トレーニングの日を楽しみにしています。元気なアスリートと出会い、一緒にプールに入るのが楽しくて、アスリートに元気をもらっているようです。これからも「出会い」を楽しみに、私にできる「ほんの少し」を大切に、ステキで楽しいSOの輪を広げて行きたいと思っています。

ボウリングヘッドコーチ 清水和夫

いませんが、ゆっくり時間をかけて回数を重ねることにより、レベルを徐々に上げていければと思っています。

さて、今回の会場として立山グランドボウルさんを使わせていただいているのですが、ここはスコアが自動計算ではなく、自分で書き込み方式となっています。そこで、アスリートに手伝ってもらったりコーチ自身も昔懐かしスコアの計算方法を思い出してもらったりと、新しい試みも実施しています。

スペシャルオリンピックの活動は大会への参加がメインではありません。多くの方々とふれあう機会も含め、他団体の競技会へ参加することも考えていきたいと思っています。楽しみいっぱいのボウリング・プログラムに！



ファミリー委員長 戸田一郎

会費は一切徴収されておらず、運営はすべて賛助金によってまかなわれています。一人でも多くの方に活動をご理解・ご協力いただき、会を継続的に運営できるよう、なお一層のご努力をお願いいたします。

二つ目はファミリー委員会として会員の建設的な声を運営に反映させたいと思っています。ご意見をメールなり、電話で率直にお聞かせいただきますよう、お待ちしております。

★最初はビデオ編集でした！

私がスペシャル・オリンピックスの存在を知ったのは、2003年11月、富山県スキー連盟の指導員試験学科講習会の会場でした。関先生がSOのアルペンスキーボランティア募集の話を書き、連絡先のメールアドレスをノートに書きとめ帰宅したことを記憶しています。

もともと、子供さんにスキーを教えさせて頂くのは嫌いではなかったのと、今後取得するであろう準指導員資格を生かす場が明確になったような気がしました。それから数日して澤田さんが私の自宅に来られ、SOのことなどを説明されました。お話をお聞きますと、ボランティアの内容ではスキー以外にも協力できることがわかり、アルペンスキーのプログラムを待たずして私のボランティア活動は始まったのです。

その一番初めはビデオの編集で、SO長野大会で撮影されたビデオテープを簡潔にまとめる仕事でした。2番目はトーチラン・in高岡のビデオテープを編集し、DVDに納める仕事でした。地味な作業ではありましたが、映像から伝わってくるその場の臨場感を充分楽しませていただきました。ただ、カットした部分が多かったので、少々ご不満をもたれた親御さんもおられたかもしれません。

そうこうしているうちにSO・コーチクリニックを終え、SO富山でのアルペンスキープログラムが始まりました。プログラム2週目からしか参加できなかったのですが、私の率直な第一印象は、「どうしよう??」でした。専門用語は使えないし、それよりもアスリートが私を受け入れてくれるかどうか、一番不安でした。私は、なんだかガラス窓越しで会話しているようなもどかしさを感じながら、最初の一日を終えたのでした。

プログラム3週目。朝一番で感じたことは、アスリー

アルペンスキーコーチ LBスキークラブ所属 中村利幸

トが私を覚えていてくれていて、「少しだけ仲間に入れてあげるワ」って言うように思えたことでした。初日もそうでしたが、この日もほとんどスキーは履かずにゲレンデ下で練習のお手伝いです。走り回るのが仕事で、スキーブーツなど要らないくらいでした。大声出して、笑って・・・。今思えば結構楽しかったです。プログラム4週目になると、指名してくれるアスリートも居たりして嬉しかったですね・・・。

おまけのカリキュラムも含め、初日から最終日までお天気に恵まれ、負傷者もなく無事終了。LBスキークラブの会長大橋氏や田中貴子指導員の協力を得ることができ、アスリートが「楽しかった！」とってくれれば今年は大成功と理解してよいと思います。

が、何分にも暗中模索の初年度ですから、来年に向けての課題もたくさんあったと思います。私個人が思ったことは、今のスキーの考え方(用具や滑り方の基本など)を親御さんにも理解して頂き未来につなげていければ、ということでした。一昔前のスキー技術と違い、今のスキー技術はシンプルで無駄な操作や力を使わない楽な滑りになっているのも事実です。このようなことを伝えることも我々がやらなければならない仕事だと思えます。用具の充実について交換会等の案もお聞きましたが、親御さんの経済的負担の軽減に協力できればと、個人的にも考えています。

最後に、ご縁があって我々LBスキークラブを受け入れてくださったSO富山アルペンスキー関係者の皆様方に感謝いたします。又、今後、協力して下さるスキー指導者の方が益々増えますよう・・・、アスリートが世界大会で活躍できますよう・・・、我々に率直なご意見などお聞かせ願いますよう・・・。

■最近のできごと

★スペシャルオリンピックスチャリティーコンサート

5月15日、SOのPRを兼ねた「スペシャルオリンピックスチャリティーコンサート」が開催されました。ウィングウィング高岡4階ホールには185名の入場者があり、音楽を通じて共に楽しむコンサートのサブタイトルとおり、楽しい一時を過ごしました。

参加バンドは、「ハッピーバンド」「コースクエア」「アリノヴァ」「ザ・ホタルイカ」の4バンドで、それぞれの持ち味を生かした演奏を披露していただきました。「ハッピーバンド」の皆さんは今回初めての出演でしたが、作業所の仕事の合間に一生懸命練習されました。指導された作業所の方も大変ご苦労があったかと思えます。また家族の皆さんもハラハラしながらも温かく見守

広報委員 神島健二

っておられたのが印象的でした。その他のバンドの皆さんも忙しい中ボランティアで快くご出演いただき、最後は全員総立ちで歌い踊りのフィナーレとなりました。

また、このコンサートイベントにタイアップして定塚小学校下、各種団体の皆さんの協力による交流広場「コムコム広場」も開かれ、SO富山からは、フリーマーケットとオープンカフェで参加し、地域の皆さんと交流をはかりました。



★SOに参加して

平成7年11月24日生まれ、ただ今9歳の息子(和馬)は、2年前くらいから急に太りはじめました。「何か運動をさせないと・・・」と悩んでいたところ、タイミングよくスペシャルオリンピックスの話を聞きました。何かひとつ出来ることをを見つけるためにも良いと思い、「これだ!!」と思って、すぐに参加することを決めました。

まずは、フロアホッケーにチャレンジしました！最初は、「ちゃんとみんなといっしょに出来るのか」と心配でしたが、大好きなお友達も居て、今でもいやがらずに続けています。「マイヘルメット、マイスティックも買ったし、頑張ってもらおう！」と思っています(まずは、格好から！カナ？)。

冬は、アルペンスキーにチャレンジしました。初日に、コーチから「自分の子供には付かないように！」と言われていたのに、甘ったれの和馬は私から離れませんでした。無理矢理離れても良かったのですが、私も放っておくことが出来なかったのがいけなかったのかもしれない。でも、まずは「楽しい！」と思ってほしくて、結局、和馬にずーっと付いていました。

何か始めるまでに、すごい時間がかかる和馬のことで

中村ゆかり

すから、付いてくださったファミリーやコーチの方にすごい迷惑をかけ、お世話になってしまいました。特に中村コーチには、心をひらくまで大変でした。「あっちいって！」だの「コーチじゃないの。ママなの！」と注文がやたら多く、ほんとうに困りました。でも、一回二回と参加していくごとに、少しずつですが進歩が見えてきたんです。最後には「中村さーん！中村さーん！」と言うようになり、「ママはあっちいって！中村さんなの！」に変わり、やっと少し親から離れることができました。

何度、やめさせてしまおうかと思いましたが、途中でやめなくて本当に良かった、と今は思っています。かんじんのスキーの方はと言うと、まだまだ全然だと思えますが、本人が「すごく楽しい」と思えたようなので良かったと思っています。来年は、もうひとつステップアップできたらうれしいです！和馬の何か出来ることを増やすためにも、親子で頑張るつもりです。

ボランティアスタッフ 室谷弘子

昨年秋のトーチラン in 高岡にボランティアとして参加させていただいて、アスリートたちのすばらしい笑顔に感動しました。同時に障害を理解しサポートする人が必要なこともよくわかりました。そして、それ以来、新聞やテレビなどのメディアで障害を持つ方たちの記事があるとすぐ目に付くようになりました。

少し前にはTVや新聞などで、「障害者自立支援法」のことが取り上げられていましたね。

障害者自立支援法の趣旨は次のようなものです。

一障害者の地域生活と就労を進め、自立を支援する観点から、これまで障害種別ごとに異なる法律に基づいて自立支援の観点から提供されてきた福祉サービス、公費負担医療等について、共通の制度の下で一元的に提供する仕組みを創設することとし、自立支援給付の対象者、内容、手続き等、地域生活支援事業、サービスの整備のための計画の作成、費用の負担等を定めるとともに、精神保健福祉法等の関係法律について所要の改正を行う一

そして、改革の狙いは次のとおりとされています。

- ・ 障害者の福祉サービス提供主体を市町村に一元化
- ・ 一般就労へ移行することを目的とした事業を創設するなどの支援
- ・ 空き教室や空き店舗の活用も視野に入れた規制の緩和
- ・ 利用に関する手続きや基準の透明化と明確化
- ・ 公平な利用者負担
- ・ 国による財政責任の明確化

しかし、「これから先どうなるのか」については、まだ具体的には見えてきていないのが現状のようです。

先進諸国の中では遅れているといわれている日本の障害者福祉サービスですが、私たちも意見を出して、障害があるなしに関わらず、地域でごくごく普通に生活していけるよう、よりよい環境作りを目指していかなければならないと思っています。

「認定コーチ制度」いよいよ本格始動

これまで、SOのプログラムに参加しているコーチは、SO日本としても特別な取決めが無く、その扱いが不明確でした。「これではなんだかつまらない。一生懸命やっているボランティアコーチにもっと光を！」ということで、これからは、「認定コーチ」としてSO日本が正式に認知し、コーチの地位を確立して意識の向上を図ろうという狙いです。

認定を受けるには次の2項目をクリアする必要があります。

- ①当該種目のコーチクリニックを受講している
- ②当該種目のプログラムに10時間以上の活動経験がある

また、SO日本・認定コーチにはコーチ手帳やコーチ専用ファイル等が無料配布され、コーチクリニックや活動の記録、ルールブック、その他コーチと併せて、必要な情報を常に携帯できる便利グッズとなることでしょう。

さあ、みなさんも「認定コーチ」を目指して頑張りましょう！

「スポーツトレーナー制度」導入

「認定コーチだけでは物足りない！もっとSOしたい！」という方には“コーチ指導”という仕事があります。日本各地で開催されるコーチクリニックで、トレーナーとして活動してみませんか？ これまであった“ローカルトレーナー”にその補佐的な役割として“スポーツトレーナー”というポストもできました。主に当該種目の実技講義・実技を担当し、持ち前の技量を遺憾なく発揮できるはずです。興味のある方、詳しくはスポーツプログラム委員長にお尋ねください。

「西日本ブロック競技会」開催

2005年9月18日、お隣の石川県に西日本ブロック11地区から300名を超えるアスリートが集まって、水泳・陸上、ボウリングの競技会が開催されます。富山からは、アスリート38名、コーチ18名、ボランティア8名が参加の予定です。

そこにはきっとたくさんの笑顔、そしてたくさんの感動があるはずです。お隣県ということでもありますし、みなさん是非応援に行きましょう！

また、今回の競技会には実行委員会の段階から富山のスタッフが入って勉強しています。来年度以降は富山でも地区競技会を開催できればと思っています。

西日本ブロック競技会壮行会 : 9月11日(日)
西日本ブロック競技会合同合宿 : 8月20・21日(土・日)
記録会 : 陸上・水泳9月3日(土)、ボウリング4日(日)
SOデーイベント : JR富山駅前広場 : 11月3日(祝)

■スタッフミーティング

広報委員 上原恵

SO富山のスタッフミーティングは、毎月10日・20日の2回、富山市布瀬町のSO富山の事務所で午後7時から開かれています。一番乗りの人が鍵をあげてブラインドを開けると、正面にオレンジ色の夕陽が見え、「さあ、今日もミーティング、頑張ろう」と気合を入れます？ ということで、ここ最近のミーティングの概要をお伝えします。

5月10日 スポーツプログラム委員長会議の結果報告(澤田)、西日本ブロック協議会の実行委員会報告(澤田)、本部機能移転関係、大会参加の経費関係、5月15日の役割確認、地区組織立ち上げ関係、HN 発刊計画、ボランティア拡充関係

5月20日 チャリテュコンサート収支報告(神島)、会則関係(清水)、ボランティア勧誘関係、ボウリングプ

ログラム運営方法、西日本ブロック大会関係(澤田)、ハートフルニュース関係(上原)、本部機能移転関係、バーベキュー開催計画、東京ファミリー委員会出張関係、SOデー開催場所決定、役員関係

6月10日 ボランティア拡充関係(JAIFAさん)、HN関係、BBQ 段取り関係、西日本B競技会関係、ユニフォーム関係、支部昇格関係、会則関係

■個人賛助会員、企業・団体賛助会員登録のお願い

会計責任者 井波俊明

スペシャル・オリンピックスは、知的発達障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供しているスポーツ組織です。SOでは、これらのスポーツ活動に参加する知的発達障害のある人たちをアスリートと呼び、多くのボランティアやアスリートのファミリーたちが一緒になって彼らの活動を支えています。

SOの活動は非営利活動で、運営はすべてボランティアと善意のご賛助とご寄付によって行われています。このハートフルニュースをご覧の皆様、是非、個人賛助会員、企業・団体賛助会員への登録をお願いいたします。

<賛助金・寄付金をお寄せ下さった皆様（2005年1～5月）>

敬称略

	お名前	金額	お名前	金額		お名前	金額	
賛助金	槻 栄一	10,000 円	川端 貴美子	9,000 円	賛助金	松岡 英治	3,000 円	
	河内 久美子	3,000 円	豊田 由紀子	3,000 円		村下 昭一郎	3,000 円	
	中村 博	3,000 円	野末 伸子	3,000 円		上原 恵	3,000 円	
	小柴 昌恵	3,000 円	村下 礼子	3,000 円		上原 公子	3,000 円	
	大津賀 貴文	3,000 円	村下 勇	3,000 円		神島 健二	3,000 円	
	中川 章一	3,000 円	森 剛	3,000 円		神島 辰枝	3,000 円	
	坂田 優子	3,000 円	杉森 真一	3,000 円		清水 和夫	3,000 円	
	開 裕貴	3,000 円	八木 信一	3,000 円		本間 恵介	3,000 円	
	清水 功一	3,000 円	西野 源治	3,000 円		吉田 満	3,000 円	
	戸田 明里	3,000 円	中山 真美	3,000 円				
	杉森 建彦	3,000 円	村中 洋介	3,000 円				
	金山 幸代	3,000 円	金山 朋代	3,000 円				
	神島 雅諭	3,000 円	上原 悠太	3,000 円		寄付金	北酸株式会社	100,000 円
	西野 昌樹	3,000 円	増岡 涼	3,000 円			戸田 一郎	50,000 円
	高畑 一樹	3,000 円	高田 直哉	3,000 円			金森 貞子	10,000 円
	中村 和馬	3,000 円	田口 美里	3,000 円			高岡養護学校	5,000 円
	本間 和華	3,000 円	八木 信成	3,000 円			あかりハウス	2,730 円
	二口 悠太郎	3,000 円	柴田 真成	3,000 円			ローソン小杉	1,917 円
	円仏 和司	3,000 円	笹井 大生	3,000 円			ラーメンはやし	1,040 円
	尾山 弘隆	3,000 円	内山 晃	3,000 円				
松倉 裕貴	3,000 円	西田 優真	3,000 円					
浅野 達哉	3,000 円	東山 弘明	3,000 円					
末村 悠斗	3,000 円	末村 遥菜	3,000 円					
末村 遼	3,000 円	前田 恵佑	3,000 円					
開 拓人	3,000 円	辻堂 紀一	3,000 円					
辻堂 礼子	3,000 円	宮崎 美代	3,000 円					
中村 ゆかり	3,000 円	高田 裕一	3,000 円					

ありがとうございました。

賛助金

<個人> 一口 3,000 円
 <企業・団体> 一口 10,000 円

※ お問い合わせは、SO富山事務局あてメールもしくはファックスでお願いします。追って、賛助会員申込書を送らせていただきます。